

## 教職員研修の充実について

中核市移行に伴う研修権の移譲により、教育研修センターは、より明石のまちづくりに合わせた研修を実施できるようになった。教職員にとって採用から3年間は、授業づくりや学級づくり、教科指導や生徒指導等の実践的指導力を身に付ける特に大切な時期である。そのため本年度は、初任者研修を重点的に充実させる。また、教職員がこれまで以上に研修に主体的に取り組み、「やさしい中核市、明石」の教職員としての自覚を高める工夫をしながら進める。

### 1 初任者対象研修の充実

#### (1) 「初任者研修（法定）」の内容

県教育委員会が実施している初任者研修の内容や質を確保しながら、明石の子どもたちの実態を加味して実施する。また、教職員が明石について学び、子どもたちのふるさと意識を高めることができるよう、地域教材・地域人材等を活用した研修も行う。

#### (2) 「まちづくり研修（市独自）」の内容

市が進める「やさしいまちづくり」などの主要施策に対する理解を深め、教育活動に活かせるようにするため、市長部局と連携し3日間の「まちづくり研修」を実施する。

1 日 目	人にやさしいまちづくり（福祉局 福祉総務課 他） (1) 共生社会をめざす明石市の取組について（講義） (2) ユニバーサルマナー検定（3級）（講義・検定） (3) 障害者への共感的理解（グループワーク）
2 日 目	だれもが安心して学び過ごせる環境づくり（福祉局 子育て支援課 他） (1) 明石市のこども総合支援推進体制について（講義） (2) 児童虐待の早期発見・早期対応（講義・演習） (3) 施設見学
3 日 目	明石の施設に学ぶ（あかし市民図書館、あかし動物センター等の施設） (1) 施設の機能・役割の理解（施設見学） (2) 学習場面での活用について（演習）

#### (3) 研修の進め方の工夫

授業づくりに関する研修では、3年間固定の少人数グループを編成し、指導主事がそれぞれのグループ担当として、メンタル面のサポートも含め、きめ細やかに指導・支援にあたる。

### 2 研修効果を高める工夫

特に回数の多い初任者研修では、研修レディネス（受講前の課題意識）を記入する「研修ノート」、理解度確認の小テスト、研修内容を振り返るとともに自分の強み・弱みを知り能力向上に繋げるための「研修総括シート」等を導入する。このことにより、受講者が主体的に研修に取り組み、学校現場での実践に活かす仕組みとするとともに、年度末には蓄積した研修履歴をもとに1年間の成果と課題を振り返り、2年目への課題設定ができるようにする。（別添「参考資料2」参照）

また、初任研以外の研修についても、上記の効果を見ながら、評価の仕方を見直していく。

### 3 その他

指導主事が、人材開発担当が主催する階層別新任研修や能力開発系研修へ積極的に参加し、指導主事としての力量を高めることで、教職員への指導に活かせるようにする。